

各府省国会連絡室 御中

回答・資料のお願い

衆議院議員 長妻昭、山井和則

8月28日（火）16時からの野党ヒアリングにて、下記の事項について、可能な限り、回答・資料を提出し、ご説明をお願いいたします。

記

1. 厚労省に提出した、昨年6月1日時点の各府省庁の障害者雇用状況の資料を提出して下さい。（各府省庁）
2. 各府省庁の障害者雇用の障害種別（身体、知的、精神）のそれぞれの人数と割合、またそれぞれについて、有期雇用と無期雇用のそれぞれの人数、割合を示して下さい。（各府省庁）
3. 水増しがあった府省庁すべてについて、それぞれの府省庁でどのような水増しが行われていたか、具体的な方法をいくつか例示して下さい。（各府省庁）
4. 現在、各府省庁で勤務している身体障害者、知的障害者、精神障害者は、具体的には、どのような仕事内容か。代表的な仕事内容をいくつか例示して下さい。（各府省庁）
5. 水増ししていた分を各府省庁はそれぞれいつまでに、どのような方法で障害者を雇用しますか。（各府省庁）
6. 5月までの障害者雇用についての通知（「原則として」が、入っているもの）と、6月以降の通知（「原則として」が、入っていないもの）をそれぞれ提出して下さい。（厚労省）
7. 全国の都道府県、市町村で、採用における障害者枠の有無について、実態を調査し、公表することについて、見解を示して下さい。（厚労省）
8. 国の機関においても、地方公共団体で行われているように、職員採用における障害者枠を設けることを検討すべきと考えますが、人事院及び内閣人事局の見解を示して下さい。（人事院、内閣人事局）
9. 人事院規則8-12第二款第十八条十の規定を根拠に、国家公務員の採用に関し、障害者のみを対象とする採用枠を設けることは可能ですか。見解を示して下さい。（人事院、内閣人事局）

以上